

船橋市総合体育館・船橋市武道センター

指定管理者内部評価 評価結果シート

施 設 名	船橋市総合体育館・船橋市武道センター
指 定 管 理 者	ふなばしスポーツ健康パートナーズ
評 価 対 象 年 度	令和7年度
所 管 課	生涯学習部 生涯スポーツ課

総合評価	評 価 の 理 由
A	事業計画に基づく評価表の評価項目中、S評価1項目、A評価3 8項目、B評価2項目となり、適切な維持管理に努め、概ね事業計画 通り管理運営がなされていると言えるため、A評価とした。

※総合評価は「施設所管課による評価」だけを対象に評価する

※総合評価で評価項目が混在する場合の基準は下記「総合評価の基準」を適用します

総合評価の基準	
S	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である
A	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である
B	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である
C	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない
D	上記に関わらず、事業計画に基づく評価表の評価項目内に一つでもDがある場合

項目別評価状況	
S	事業計画以上の優れた管理運営がなされている
A	概ね事業計画どおりに管理運営がなされている
B	概ね事業計画どおりに管理運営がなされているが、一部軽易な改善事項あり
C	事業計画どおりの管理運営がなされておらず、早急な改善を要する
D	指定の取消しをせざるを得ないような不適切な管理運営がなされている

品質管理把握状況

各種報告書の提出状況の確認	基本協定書に定めている期日内に確認
現地把握調査	時機に応じて実施
事業報告書提出日	令和8年7月17日
ヒアリング期間	令和8年7月17日～令和8年8月5日

指定管理者による自己評価	記入日	令和8年7月17日
生涯スポーツ課による評価	評価日	令和8年8月5日

<項目別評価表>

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
中項目 1. 管理運営の基本方針			
小項目 1. 管理運営の基本的考え方			
(1)施設の設置目的を十分に理解し、管理運営を行っているか。	A	A	基本理念等を通じて、施設の設置目的を全スタッフに周知徹底し、管理運営を行っている。
(2)誰もが安全に安心して利用できる維持管理が行われているか。	A	A	安全かつ快適に利用できるよう、施設・設備・異常・不具合の発生を未然に防ぐ「予防保全」を基本的な考え方とした維持管理業務を行い、各設備等について、法定点検、自主点検を実施するとともに日常における設備の運転、監視を適切に行うための専門的な技術・経験を有するスタッフを24時間体制で配置し、適切な維持管理が行われている。
小項目 2. スポーツ振興・地域活性化に関する考え方			
(1)本市のスポーツ振興や施設を通じた地域活性化に寄与するものとなっているか。	A	A	トレーニング室の利用時間制限の撤廃等、利用者の利便性を高めるサービスを提供するとともに、利用者のスポーツ振興に努め、地域活性化に貢献した。
中項目 2. 事業運営計画			
小項目 1. 施設の管理体制全般に対する考え方			
(1)組織体制、人員配置は適切か。	A	B	施設管理にあたり、募集要項、事業計画書に記載のと通りの人員配置となっており、業務再委託先の従事者の資格を確認するなど、適切な管理運営体制に努めている。 総括責任者が変更になったことに伴い、当初は市が求める報告書類等の提出が遅れることがあり、改善の指導を行ったが、年度末にかけて徐々に改善された。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
小項目 2. 安定的な事業運営を行う体制			
(1)費用対効果に配慮した施設運営及び効率的な体制になっているか。	A	A	多岐にわたる業務を遂行できるスタッフを育成し、効率的な運営を実施するとともに、水光熱費の削減努力もみられた。 また、小規模な修繕や清掃については、指定管理者の職員が自ら行うなど、費用の圧縮に努めた。
小項目 3. 利用促進			
(1)計画は利用者拡大、サービスの向上に独自の創意工夫が見られ、妥当なものとなっているか。	A	S	前指定管理者からのポイントサービスを継承しつつ、交換商品を見直すこと等の創意工夫は見られた。 また、温水プールの利用時間 1 時間拡大のサービス継続に加え、新たにトレーニング室の利用時間撤廃を行う等、さらなるサービスの向上に努めている。
(2)スポーツ施設を積極的に活用する方策が提案されているか。	A	A	施設の有効活用として、スポーツの利用だけに留まらず、ロビーコンサートの開催や、サブアリーナのロビーを地域団体へ貸出、ワンコイン寄席、生け花の展覧会、菊花展など、積極的に活用している。
小項目 4. 施設の貸出条件			
(1)受益者負担額は妥当なものとなっているか。	A	A	条例に規定している料金体系を維持しつつ、受益者負担を考慮した上で利用者の負担軽減や利用促進のため、適正な料金設定を行っている。
(2)利用者の平等な利用は確保されているか。	A	A	船橋市専用使用等に関する要綱に基づき、抽選予約・随時予約の利用受付を的確に行っている。 また、両施設とも利用者調整会議を開催することで各団体の利用調整を図るとともに、総合体育館における「大会・イ

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			ベント等の特例予約」にて一般のイベント等の予約についても広く周知を行うなど、平等利用のための工夫を行った。
小項目 5. 自主事業の実施			
(1)実施体制やプログラム展開は適切か。	A	A	幅広い年齢、ニーズに応えるべく様々なプログラムを充実させている。
(2)住民ニーズを把握する方策がとられているか。	A	A	利用者のニーズを把握するためご意見箱の設置や、利用者への利用者アンケートを実施した。また、近隣住民と自らコミュニケーションを取り、要望を聞いている。 寄せられた要望については、できる限り対応を行っていることを定例会等でも報告されている。
(3)魅力ある自主事業となっているか。また、参加しやすいような創意工夫がとられているか。	S	A	温水プールにおいて、幅広い年代が参加できる水泳教室を実施した。また、リズムエクササイズ室において、空手、新体操、ダンス、バスケットボール、テニスなど魅力のある教室や、イベントと絡めて教室参加者の拡大を図った。 トレーニング室では利用者のニーズの把握に努めており、利用者拡大につながった。 欠席をした際の欠席振替券の発行や、保護者の送迎時の駐車場無料化、月謝教室の1か月未参加の場合の還付対応など、参加しやすい工夫を継続している。
(4)各種競技団体等と連携し、事業を展開する提案がされているか。	A	A	各競技団体と専用利用1か月前には事前打ち合わせを実施する体制を構築するなど、スムーズにイベントを実施できる連携体制はできている。
小項目 6. 利用者支援計画			

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(1)利用しやすい施設運営を考えているか。	A	A	マシンジムを初めて利用する方向けに、初回講習会を開催し、安心して利用できる体制を構築した。また、利用するサークルの掲示板を設置したりホームページへ掲載したりするなど、誰もが利用しやすい環境の整備、施設運営に努めている。
小項目 7. 利用者への公平性			
(1)自主事業計画は利用者への公平性について考慮されたものとなっているか。	A	A	利用者のニーズに対応した多種多様なプログラムが組み立ており、公平性を考慮している。また、温水プールでは様々な利用形態の要望に沿うようコース設定を行うなど、教室利用者以外の施設利用者にも配慮している。
中項目 3. 維持管理計画			
小項目 1. 維持管理体制			
(1)施設を維持する上で、適切な維持管理体制がとられているか。	A	A	概ね事業計画どおり、施設の維持管理に必要な人員配置を行い、施設責任者と設備責任者によるミーティングを毎週実施し、専門的知識を有するスタッフを24時間体制で配置するなど、維持管理体制の強化及びリスク管理体制の構築に努めている。
小項目 2. 管理運営にあたって必要となる専門性			
(1)人員配置計画は専門性を理解した配置になっているか、効率的な人員配置となっているか。	A	A	施設管理・維持のため、適切な有資格者を配置し、再委託先にも適切な指示を行っている。また、本社の専門部署によるバックアップ体制も構築されている。
小項目 3. 施設の保守管理計画			
(1)施設を適切に保守管理できる計画となっているか。	A	A	年間計画に基づき、法定点検及び自主点検を適切に実施し、予防保全に努めている。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(2)施設の点検方法は適切であるか。	A	A	人材のバックアップ体制を活用し、専門的な有資格者の確認のもと、適時状況に応じた点検を適切に実施している。
小項目 4. 清掃管理計画			
(1)経費節減に努め、かつ、施設の快適性や魅力の向上に寄与するものとなっているか。	A	A	設備維持管理対応の中で、実施内容、経費、効率から最善の取引先を選定し、費用対効果を高めている。また、指定管理者自ら実施するものと委託するべきものを選別し、経費削減に努めている。
小項目 5. 設備・備品の管理計画			
(1)常に施設を安定して提供できるような体制や人員配置、計画となっているか。	A	A	職員のマルチジョブ化（多能化）が推進され、年間を通して適正な計画に則って安定した施設が提供できる体制を整えている。
小項目 6. 駐車場、保安警備業務の管理計画			
(1)路上駐車対策や施設の安全管理などで対策が計画されているか。	A	A	総合体育館においては、混雑時に誘導スタッフ及び保安警備員を配置するなど安全対策がとられている。
(2)混雑時には誘導員等を配置し、利用者を適切に誘導できているか。	A	A	混雑時には駐車場警備員を配置するとともに、出庫時には職員による精算業務を行い、適切かつ円滑な誘導を行っている。
中項目 4. 収支計画			
小項目 1. 管理に係わる収支予算			
(1)整合性がとれているか。	A	A	千葉ジェッツふなばしのホームアリーナ移転に伴い、売上を減少させたが、Tリーグ、Vリーグ、プロレスリングイベ

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			ントなど、多くのイベントを誘致し開催することでその収入減分を補うよう努めた。 支出については、最低賃金上昇に伴う労務費像や水道・光熱費の高騰により厳しい状況となったが、使用量の削減努力、消耗品の購入見直しによる支出の削減にも努め、収支均衡が図られた。
小項目 2. 支出見積もりの妥当性			
(1)支出予算は、募集要項等に定める業務を実施する上で妥当なものになっているか。また、算定根拠が明確か。	B	B	令和7年度の事業計画通りの事業実施及び施設維持管理に基づき予算計画をしているが、猛暑による夏季冷房使用増に伴う電気及びガス使用量増、想定を上回る最低賃金上昇に伴う労務費増を主な要因として、船橋市総合体育館では未達成となった。
小項目 3. 経費節減の考え方			
(1)経費節減は創意工夫が見られ、妥当なものとなっているか。	A	A	両施設ともに工夫して節電・節水に努めており、利用者にも協力を促している。 また、従業員によるオペレーションで水道使用料室等の経費削減に努めた。
小項目 4. 収入見込みの妥当性・安定性			
(1)利用料金その他の収入の予測の根拠は、公共性を理解した妥当なものとなっているか。	A	A	収入の予測は、利用者調整会議における予約の調整等、適切な利用を前提とし、過去の利用者人数実績から行い、予測立案をしている。また、利用料金の設定は、条例を基本に利用者の利便性の向上を図ったものとなっている。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(2)利用促進を図り、安定した収入見込みとなっているか。	A	A	総合体育館においては利用調整会議による年間予約、大会イベント等特例予約により、施設の特性を活かしつつ、安定的かつ継続的な利用を確保し、収入を見込んでいる。
小項目 5. 事業収益向上の考え方			
(1)事業収益向上の考え方は、創意工夫が見られ、妥当なものとなっているか。	A	A	自動販売機設置、プライベートトレーニングの要員増、魅力のある教室の導入等を実施し、利用者の満足度向上、収益向上に努めている。
小項目 6. 自主事業収支の妥当性			
(1)自主事業の収支に対する考え方は、適切で、妥当なものとなっているか。	A	A	自主事業教室については、収入の確保だけではなく、安心・安全な教室の開催を考えた料金設定を行っている。 イベントについても労務費の高騰がある中でも利益の追求に特化せず低廉で実施している。
中項目 5. その他管理運営に関する計画			
小項目 1. モニタリング方法の考え方			
(1)利用者からの意見に対処する体制がとられているか。	A	A	ご意見箱を設置して常時利用者の意見を広く集めるとともに、その対応について適宜回答を掲出してご意見に対処する体制を整備している。
小項目 2. 安全対策・事故発生時の対応について			
(1)事故防止対策など安全対策が考慮されているか。	A	A	各種規則・マニュアルなどを整備して、安全対策を講じている。また、スタッフに対しても各種研修の参加を義務付けている。
(2)事故発生の際の対応方法が考慮されているか。	A	A	休館日において定期的に研修を実施するとともに、事故発生時にはマニュアル等に基づき対応し、迅速な報告及び事後

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
			処理を行っている。また、資格の取得なども積極的に行っている。
小項目 3. 個人情報の取り扱い			
(1)個人情報の管理方法は適切か、個人情報保護法、船橋個人情報保護条例に従ったものに従ったものになっているか。	S	A	企業としてプライバシーマークを取得し、厳格な管理を実施している。また、定期的に従業員に対し個人情報の管理について理解度テストを行わせるなど、個人情報の漏えい、滅失、改ざん防止などの徹底を図っている。
(2)個人情報の保護や情報セキュリティの体制が整っているか。	S	A	本社において構築した情報管理システムを利用している。個人情報が保管されている居室への入室管理を行っている他、業務用パソコンの持ち出し禁止やUSB メモリ等の外部媒体制限等の情報漏洩が生じない仕組みを整備している。
小項目 4. 環境への配慮			
(1)環境問題への取り組みを考慮し、資源および事業費の節減のため創意工夫が見られるか。	A	A	未施設利用の消灯、雨水利用による節水などを実施して、省エネルギー化を図り、経費の節減を実施している。また、ペットボトルキャップの回収を行うなど、地域住民と連携を図りながら環境問題を考慮しリサイクルの促進を図っている。
小項目 5. 広報計画			
(1)利用促進に効果がある広報計画を行っているか。	A	A	イベントにおける近隣幼稚園へのチラシ配布や、SNS を活用したインターネットによる継続的な情報発信を行っている。
小項目 6. 研修計画			

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(1)従業員の資質の向上に向けた研修を計画しているか。	S	A	接客接客研修を実施して、接客水準の確保に努めている。 また、他にも公共施設従事者研修、コンプライアンス研修等を定期的実施することで職員の資質向上に努めている。
中項目 6. 事業計画全般及び指定管理者としての団体に対する評価			
小項目 1. 運営実績			
(1)スポーツ施設の管理運営に精通しているか。	S	A	数多くの施設管理経験によりバックアップ体制を構築し、利用者の希望に合ったサービスを提供し、適切に管理運営を行っている。
(2)経験や知識は優れているか。	A	A	全国の施設で蓄積された知識を管理運営に活かすため、各種のマニュアルを整備し、職員の知識の水準を上げている。
小項目 2. 事業遂行能力			
(1)経営状況は安定しているか。	A	A	令和7年度においては当該施設の利用者は減少傾向にあるが、代表企業は、本施設以外にも、主要事業の伸長及び新規事業の出店拡大による前年度以上の安定した経営を行うことができる。